

2022年11月18日

報道関係者各位

計2枚

ディッフエンドルフアー記念館(東棟)が国の登録有形文化財へ



国際基督教大学（ICU：東京都三鷹市、学長：岩切正一郎）が所有するディッフエンドルフアー記念館（東棟）が、国の登録有形文化財（建造物）として文部科学大臣に答申されました。ディッフエンドルフアー記念館（東棟）は、日本で最初に構想された本格的な学生会館であり、デザインにおいては 1960 年前後に流行したモダニズム建築の特徴を備え、その設計内容において国際基督教大学の建学の理念を象徴している稀有な建造物です。また、耐震性の確保、機能の更新を目的とした、2000 年および 2021 年の、2 度の大規模改修はいずれも原設計者の後継者たちによって当初建物の価値を失わないように注意深く行われました。

以上により、本建築は国の登録有形文化財の価値を有すると評価されました。戦後の自由な大学教育を目指した大学として、設計過程で学生の意向を取り入れた点も評価されました。本学では、1999 年の泰山荘につづき 2 件目となります。現在でも、講堂（オーディトリウム）ではさまざまなイベントが開催され、また学生クラブ活動室、宗務部などがあり、「D 館」という呼び名とともに学生及び教員の交流の場として活発に利用されています。2016 年にはドコモモジャパンに選定されています。

竣工	1958年
設計	ヴォーリス建築事務所
選定歴	2016年 DOCOMOMO Japan 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」



=====
 問い合わせ先：国際基督教大学 (ICU) パブリックリレーションズ・オフィス
 (担当：小瀧、吉良 Tel: 0422-33-3040 Fax: 0422-33-3355 E-mail: pro@icu.ac.jp)